

5 その他の検査

1 浴槽水等の検査

検体数は555件であった。主な検査項目の内訳は、レジオネラ属菌377件、浴槽水基準項目（レジオネラ属菌の検査を含む）56件、腸管出血性大腸菌O157が31件、その他91件であった。

不適件数はレジオネラ属菌45件、浴槽水基準項目5件、その他0件であった。（表1）

レジオネラ属菌検査の検体数は433件であった。レジオネラ属菌が検出された総件数は49件であり、不適率は11.3%であった（表2、図1）

表1 検査項目別不適状況

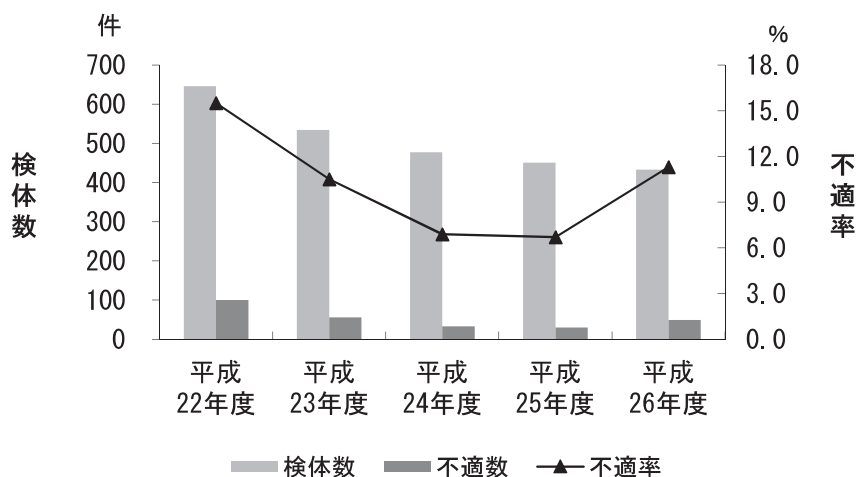
検査項目	件数	不適件数
レジオネラ属菌	377	45
浴槽水基準項目	56	5
腸管出血性大腸菌O157	31	0
その他	91	0
総数	555	51

※浴槽水基準項目には、レジオネラ属菌が含まれています

表2 レジオネラ属菌検査件数と不適率の年次推移

	検体数	不適数	不適率 (%)
平成22年度	646	100	15.5
平成23年度	534	56	10.5
平成24年度	477	33	6.9
平成25年度	451	30	6.7
平成26年度	433	49	11.3

図1 レジオネラ属菌検査件数、不適数、不適率の年次推移



2 ノロウイルス検査

検体数は313件であった。陽性数28件で、陽性率は、8.9%であった。(表1、図1)

内訳は、検体数では大量調理施設等調理従事者が46.6%を占め、ホテル・レジャー施設が18.8%、飲食店が13.1%を占めた。依頼区分別での陽性率は大量調理施設7.3%、その他が1.6%、ホテル・レジャー施設、飲食店は、0.0%であった。(表2)

表1 検体数と陽性率の年次推移

	検体数	陽性数	陽性率 (%)
平成22年度	244	29	11.9
平成23年度	107	11	10.3
平成24年度	946	105	11.1
平成25年度	718	96	13.4
平成26年度	313	28	8.9

図1 ノロウイルス検査の依頼数、陽性数、陽性率の年次推移

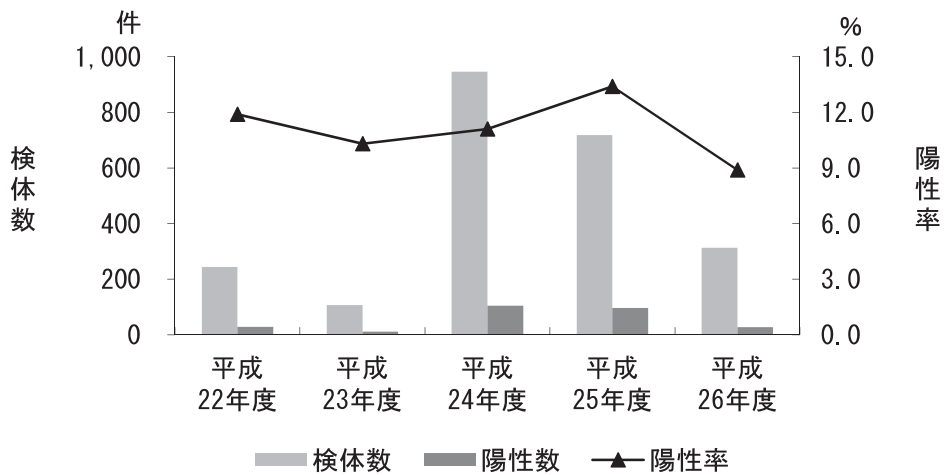


表2 依頼区分別陽性率

区分	検体数	検体割 (%)	陽性数	陽性率 (%)
大量調理施設等	146	46.6	23	7.3
ホテル・レジャー施設	59	18.8	0	0.0
飲食店	41	13.1	0	0.0
その他	67	21.4	5	1.6
総数	313		28	8.9